

男子ソフトテニス部

3大会連続の関東大会

～団体県予選会では関東大会の切符は逃すも32年ぶりのベスト4～

4月23日（土）、24日（日）2日間にわたり川崎等々カテニスコートで行われた個人戦県予選会、本校からは地区予選会を勝ち抜いた5ペアが出場しました。全県から131ペアがエントリーし、4回戦を勝ち抜いたベスト16のペアが6月4日、東京都小金井市で行われる関東高校ソフトテニス大会への出場権を獲得します。

初日、2回戦スタートの3年生ペアの川喜多龍・高坂侑希が横浜南陵・法政二高を破って4回戦の代表決定戦に進出します。決定戦の相手は強豪東海大相模高校の1年生ペア、しっかりやってくれば、勝機は十分にあると確信していました。後衛の川喜多がしっかり打ち込み、前衛の高坂が決めるパターンがきちんとできゲームを先行することができました。終盤ミスが続き追いつかれそうな場面もありましたが、粘り強く戦いG④-2で勝利し、関東大会への出場権を獲得しました。

昨年秋に行われた新人大会ではベスト8に入賞し、第7シードとして臨んだ本大会、大会前の練習試合などでは調子が上がり少し焦りやプレッシャーもあった中でしたが、自分たちのテニスをしっかりと表現してくれました。前衛の高坂は昨年の宇都宮関東に続いて2年連続の出場となります。43期生から3大会連続で中央大会への出場を果たし（44期生は新型コロナウイルスの関係で大会中止）県内で安定して結果がでるチームとなってきました。ベスト8をかけた5回戦では敗退し、悔しさが残った大会となりましたが団体戦でもチームの柱として32年ぶりのベスト4入賞に大きく貢献しました。今後もチーム一丸となって戦い抜きたいと思えます。応援よろしくお願ひします。



また、今大会より、約3年ぶりに保護者の来場も許可（制限つき）がされ、大会会場の雰囲気も活気が戻ってきました。引き続き、感染対策を講じながら練習に励みます。応援よろしくお願ひします。

顧問 岡部 正